

～官民連携DXによるAI道路点検サービス～ ドラレコ・ロードマネージャー

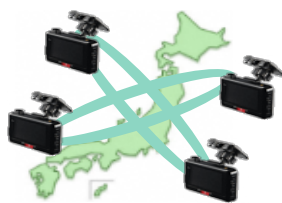
三井住友海上のドライブレコーダーのデータをAIが分析し、広域な路面状態をクラウド上で一元管理することで、道路の点検・管理業務を効率化するサービスです。

サービス概要

ステップ①

＜ドラレコ情報＞

全国を走るドライブレコーダーが
道路映像データを収集



ステップ②

＜データを分析＞

高精度なAIでポットホール・
ひび割れ等の道路損傷を検出



ステップ③

＜自治体さまへデータ提供＞

道路管理業務へのご活用・
道路事故未然防止が可能



サービス概要説明へ
アクセスできます！



スマートフォンの場合

こちらからアクセス
できます。



パソコンの場合

「ドラレコ・ロードマネージャー」で
検索してください。

ドラレコ・ロードマネージャー

導入効果

①道路管理業務の工数・コスト削減

DXによって道路管理の業務負荷を低減し、コスト削減！

②道路品質向上・修繕業務の最適化

修繕すべき箇所を定量的に把握し、最適な予算配分で街をより綺麗に！

③道路交通事故の未然防止

ポットホール等の事故誘発箇所を早期に発見し、未然防止が可能！

道路交通事故の実情

➢ 件数は増加傾向、2020年度は年間2,000弱の事故が発生

■ 経年で増加傾向にあり、2020年度は全国自治体数に相当する件数の事故が発生

■ 管轄する自治体の職員数は減少傾向。予算・人手が不足する中、デジタル技術の活用による効率化・高品質化が不可欠

保険には、未来を変えるチカラがある。

事故発生前 予防

● 事故・災害を未然に防ぐ

事故発生時 補償

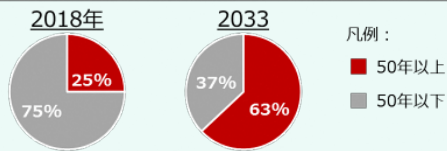
● お客さまのシーンに合った補償を提供

事故発生後 リカバリー

● 回復を支援する

➤ 建築後50年以上経過する道路インフラの割合は、2033年に全国で63%に達する見通し

建設後50年以上経過する道路橋の割合※1

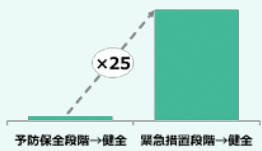


【出所】
※1:社会資本の老朽化対策情報ポータルサイト(国交省)

➤ 「事後保全」から「予防保全」への転換による道路インフラの維持・管理費の低減が重要

■ 緊急措置（インフラが機能を停止もしくは事故が発生）段階での修繕単価は、予防保全段階の修繕単価と比較し、**約25倍**

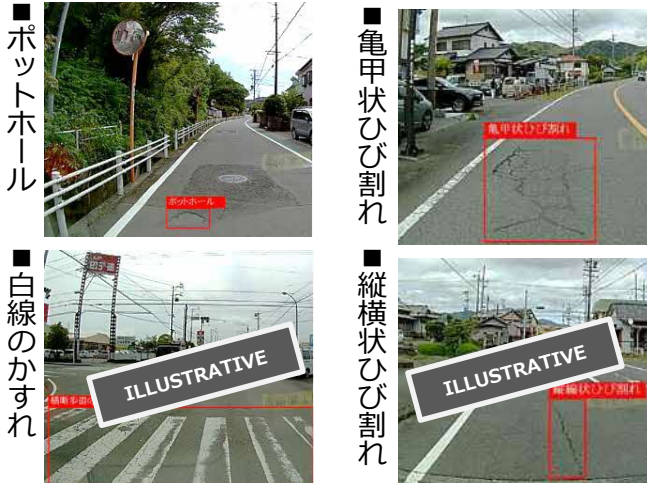
橋梁修繕単価の変化※2,3



※2:橋梁定期点検要領(国交省)
※3:持続可能なメンテナンスの実現(国交省)

機能のポイント

検出可能な損傷



*「白線かすれ」と「縦横ひび割れ」の画像提供は行っておりません（リスト提供のみ）

路線ごとの損傷評価

損傷数をカウント・色分けして表示します。

路線評価画面(例)



地図上での損傷個所表示

地図上のピンをクリックすると、ドラレコで撮影した損傷の状態（写真）を確認できます。

ダッシュボード画面(例)



損傷レポートの作成

検出した損傷個所の帳票(レポート)出力・印刷が可能。

帳票出力画面(例)



導入いただいた自治体さまのお声

関東地区 A区さま

路面の調査をAIに任せることで、点検員は路面以外を点検する視野が広がり、より効率的な道路・道路付属物点検が可能になりました。

関西地区 Z市さま

業務での運用に十分なAIの損傷検出能力があり、地方自治体におけるDXの推進に役立っています。

>紹介元：三井住友海上代理店

>ソリューション提供元

三井住友海上火災保険株式会社
<https://www.ms-ins.com/>

受賞・メディア掲載のご紹介

第6回インフラメンテナンス大賞（国交省・優秀賞）受賞

good digital award（デジタル庁）防災/インフラ部門受賞

金融経済新聞 朝刊1面（2022年1月25日）

>三井住友海上オフィシャルHP

<https://www.ms-ins.com/solution/>
（補償前後のソリューション～提供価値の変革～）

こちらから
▶アクセス
できます



本ソリューションは三井住友海上のご契約者さまに限らず、すべてのお客さまにご利用いただけます。

三井住友海上および代理店は、プライバシーポリシーに則り、個人情報を適正に取り扱います。本ソリューションにかかる契約に関連してソリューション提供元が取得したお客さまの個人情報を、お客さまの同意に基づき提供を受け、三井住友海上および代理店が取り扱う他のソリューションや商品（損害保険等）の案内、提供等に利用することがあります。取得する個人情報は、三井住友海上の委託先の米国に所在するサーバへ保存されます。